

けいえいへき
手法：継影壁

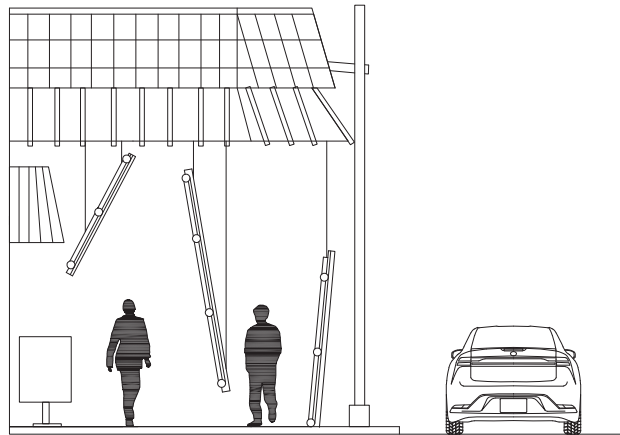
私は、都市に生かされている。他者によって生かされている。なのに、私たちは繋がっていない。ずっと繋がりがあえない。都市では無限にそのようなことが起こりえる。

だが、「はかない」糸のようなもので私たちは、きっと繋がりがあっているのだろう。それが、私の考える「和」である。

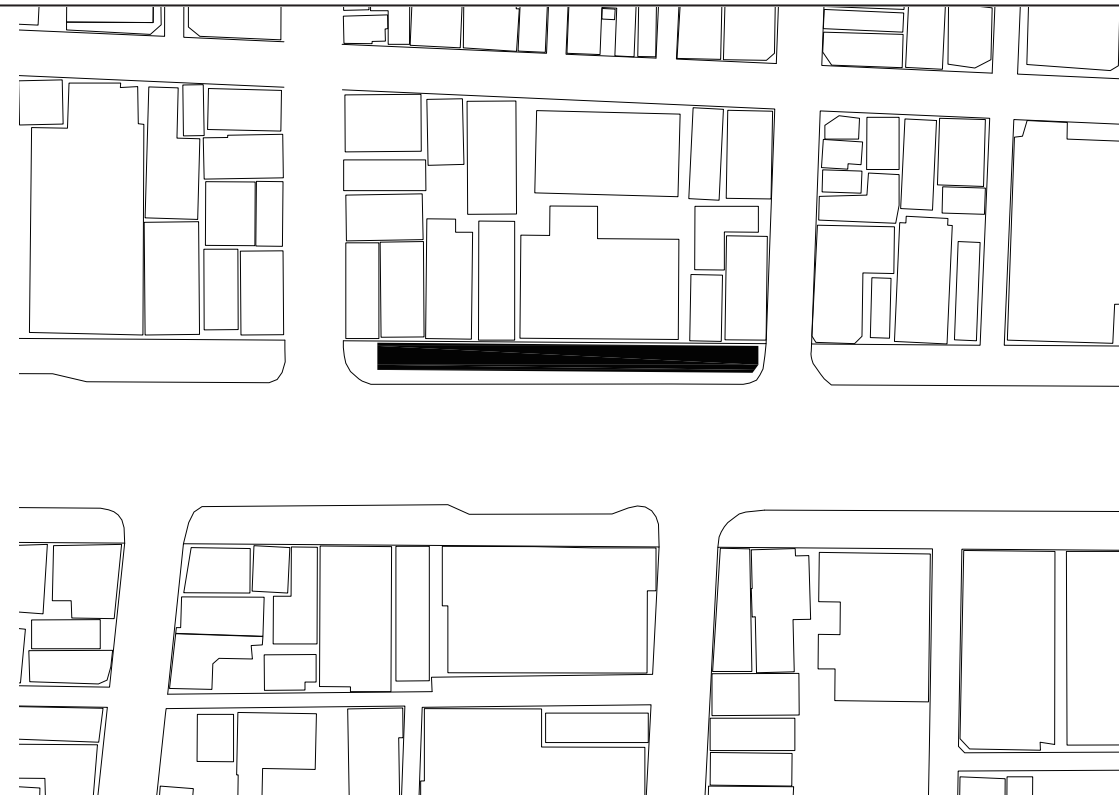
敷地は店舗が並び、様々なイメージが飛び交う「浅草」のアーケード。人々が行きかう歩道の真ん中に視線を遮る障壁を挿入する。

人々は、浅草のイメージが強制的にさえぎられる。そのとききっと各々に内在する他者との「はかない」糸が見えてくるだろう。

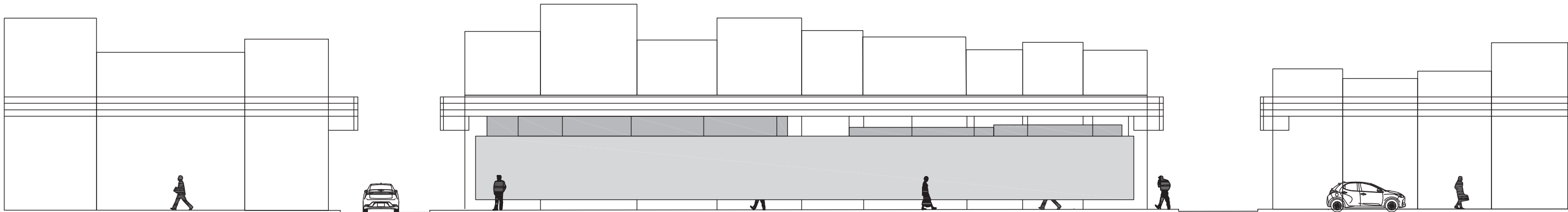
意識の中の都市が、再び^{つなが}継りあう。



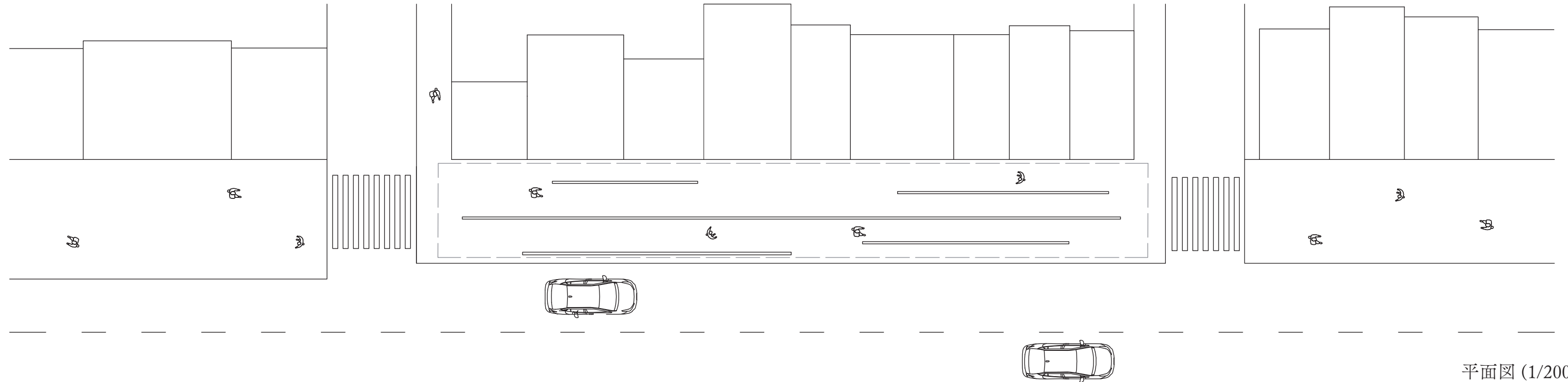
西側立面図 (1/100)



配置図 (1/1000)



南側断面図 (1/200)



平面図 (1/200)